

1976.
 天気図の記号, いろいろな型の天気図の解説, 天気図のつくり方, レーダ, 気象衛星についてもふれている。
- 股野宏志; 天気予報—その学問的背景と実際の側面, 天気, 24, 587-596, 1977.
- Monin, A.S.; Weather forecasting as a problem in physics, The M.I.T. Press, 1972.
 天気予報に関する物理的な基礎が書いてあり, スケールの問題についてもふれている。
- 宮内駿一, 田島成昌; 百万人の天気図, 成山堂書店, 1962.
 少し古い, いろいろな天気図について解説されている。
- Petterssen, S.: Weather analysis and forecasting, (second edition) I, II, McGraw Hill Book company Inc. 1956.
 シノプティックな天気予報についてくわしく述べられている。
- 齋藤直輔; 天気分析試論, 気象研究ノート, 102, 552-594, 1969.
 数値予報的な面から天気解析を論じている。
- 沢田竜吉; 天気図解析の基礎, 予報研究ノート, 6, 145-251, 1951.
 少し古い, 天気図の解析法についてくわしく述べている。
- Sawyer, J.S.; Weather forecasting—its past and future, Lectures presented at the I.M.O./W.M.O. Centenary conference, W.M.O. Technical Note, No. 130, 13-28, 1973.
 天気予報の歴史。
- Shaw, N.; Manual of meteorology, IV, Cambridge Univ. Press, 1932.
 古い気象学についても書かれている。
- 高橋浩一郎; 総観気象学, 岩波書店, 1969.
 シノプティックな気象について述べてある。
- ; 天気予報—理論と実際一, イルカぶつくす, 1977.
 天気図の型, 量の予報, 天気予報の経済効果などにもふれている。
- Thompson, P.D.; Numerical weather analysis and prediction, The Macmillan Company, 1961.
 少し古い, 数値予報のことがよくまとまって書かれている。
- 宇津木政雄; 天気予報の手引, 日本気象協会, 1968.
 天気予報に関する一般の解説書。
- 山岬正紀・他; 台風特集, 気象研究ノート, 129, 1976.
 台風に関する総合報告, 進路の予報にもふれている。
- 和達清夫監修; 気象の事典, 東京堂出版, 1976.
 気象に関する事典。

第19期第14回常任理事会議事録

日時 昭和53年2月27日(月) 14.00~17.00
場所 気象庁観測部会議室
出席者 岸保, 小平, 浅井, 朝倉, 内田, 奥田, 河村, 門脇, 神山, 杉本, 立平, 松本
報告
 [庶務]
 1. 1月23日, 日中科学技術交流協会から, 同協会設立について機関誌に掲載方依頼があった。
 2. 1月24日, 地球物理学研究連絡委員会陸水分科会から, 第11期委員候補者の推薦依頼がきた。
 3. 2月1日, 日本気象協会会長から, 昭和53年度岡田賞受賞候補者推薦依頼がきた。
 4. 2月7日, 当学会中部支部より, 支部だより(第6号)がきた。
 5. 2月13日, 国際海洋開発会議 展示会事務局から, 第5回国際海洋開発会議に対する協賛名義使用願い出が

きた。
 6. 2月13日, 当学会東北支部長から, 昭和53年度日本気象学会秋季大会に管区研究会を共催したい旨, 申し出があった。
 7. 2月20日, 当学会九州支部から, 講演要旨集がきた。
 8. 2月21日, 日本航空宇宙学会から, 「第25回風に関するシンポジウム」共催依頼がきた。
 [天気]
 1960年~1975年までの“天気”の論文数の調査結果によると, 10年間横ばいを続けている。レフリーが厳しいのか取り下げるものも出ている。
 [講演企画]
 5月24日の春季大会のシンポジウム「数値実験に基づく大気大循環について」の講師は, 金光正郎氏(気大), 木田秀次氏(気研)の両氏に依頼した。

議 題

1. 昭和53年度学会賞・藤原賞の推薦について
学会賞・藤原賞候補者推薦委員会の担当理事沢田竜吉氏から、2月1日に行なわれた選考経過の報告と推薦理由書、ならびに意見書の提出があった。
その結果、学会賞には、瓜生道也（九州大学理学部）——大気波動と平均場の非線型相互作用に関する理論的研究——
藤原賞には、片山 昭（気象大学校）——大気大循環の熱収支に関する一連の研究——
以上2会員の推薦があったので、選定規定により、全理事に対し、可否を投票させることにした。
意見書については、
(1) グループ研究（または多人数の団体の功績）の処遇問題は引き継ぎ事項とする。
(2) 賞金の増額の件については、予算に計上してある。
なお、内容討議については、次期役員に申し送りすることを了承した。
2. 昭和53年度岡田賞受賞候補者推薦について
該当者無しと回答することを了承した。
3. 昭和53年度日本気象学会秋季大会について
日本気象学会東北支部長から申し出の、秋季大会に管区研究会を共催することについては、異議なしとして回答することを了承した。
4. 第5回国際海洋開発展ならびに第5回国際海洋開発会議に対する協賛について
協賛することを了承した。経費の分担はない。
5. 日中科学技術交流協会設立の紹介について
機関誌に設立の主旨を掲載方依頼があったが、内容が抽象的であるため、先方と連絡の上、わかりやすい注釈をつけて天気に掲載する。
6. 第11期地物研連委員会陸水分科会委員の推薦について
候補者1名の推薦方依頼があったので、名古屋大学水

圏科学研究所樋口敬二会員を推薦する。

7. 第11期地物研連委員会気象分科会委員の推薦について
さきに依頼した推薦委員長山元竜三郎氏から、次の9名を推薦したい旨報告があった。
有住直介、小野 晃、岸保勘三郎、神山恵三、沢田竜吉、田中正之、孫野長治、増田善信、山元竜三郎（アイウエオ順）
なお、全理事の書面審査を受けることとした。
8. 昭和53年度予算（案）について
杉本会計理事から、予算編成の概要について説明があった。
(1) 春・秋大会費、支部交付金、学会賞、藤原賞の増額
(2) 印刷、編集費の増額（天気、気象集誌の内容充実等のため）
(3) 事務職員は2.5人計上
(4) 旅費は、仙台の秋季大会に5名分を計上
(5) 繰越金のうちから、500万円を基本金に繰り入れる。
以上のことをふまえた予算（案）資料を総会に提出することとする。
9. 会費の値上げについて
本件については、第11回、第12回の常任理事会で慎重に検討・討議を重ねてきた結果、平均10%（A、B会費とも500円）の値上げを提案することとし、全理事に書面審査を依頼することにした。
なお、“天気”3月号に「昭和53年度の学会財政の見通しについて」を発表することにした。
10. その他
「第25回風に関するシンポジウム」共催依頼について、共催とすることを了承。
承認事項 宇江城安秀ほか13名の新入会員を承認